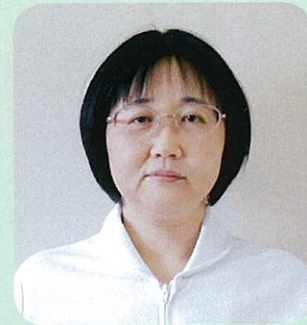


## 着任のあいさつ



総看護師長 井上 淳子

桜の花が見ごろを迎え、本格的な春の訪れを感じる季節となりました。毎朝、七尾病院前のバス停から病院までの坂道を、美しい桜とウグイスの声に励まされながら登っています。

4月1日付けで総看護師長として着任し、今は病院の中で右往左往しながら少しずつ病院のことがわかってきたかなというところです。緊張の中で始まった当院での勤務ですが、とてもアットホームな雰囲気みなさんに助けられている毎日です。

七尾病院はその役割として、結核を含む呼吸器疾患の診断と治療、神経筋難病に対する長期的治療、重症心身障害児（者）の療育を3本柱としています。患者さんの中には年単位におよぶ長期の療養生活を送られている方もあり、看護職員は『ここに寄り添う看護の実践』をモットーとして、他の職種の方々と協力しながら患者さんの生命と生活を支えています。また、高齢の患者さんが多い中、重症心身障害児（者）病棟には先日小学校入学を迎えた患者さんもあり、人生の節目に立ち会いながら看護していることに感慨を覚えました。

広報誌の表紙にも書かれているように、七尾病院には「私達の信条」という5か条があります。一般的には「病院の方針」と表現されていることが多いのですが、この「私達の信条」という表現は、病院職員ひとりひとりが、「私のすべきこと」として考えることができる言葉だと思います。この信条を、絵に描いた餅ではなく全職員が自分の行動として実践でき、継続できることが重要であると思っています。そして、信条の中にある「地域に親しまれる病院」として、地域のみなさまの健康に貢献できるような取り組みも進めていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

